

平成29年度

四日市市の決算

ちゃんねる
連動

今回の特集の内容は
市政情報等提供番組
「ちゃんねるよっかい
ち」地デジ12ch(CTY)でも紹介します。

●12月21日(金)～31日(月)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

平成29年度の決算が8月定例月議会で市議会に認定されました。
今回の特集では、平成29年度の決算を振り返り、市民の皆さんに納めて
いただいた税金がどのように使われたのかお伝えします。

一般会計 歳入 1,123億円 - 歳出 1,095億円 - 翌年度へ 4億円繰越 = 実質収支額 24億円の黒字

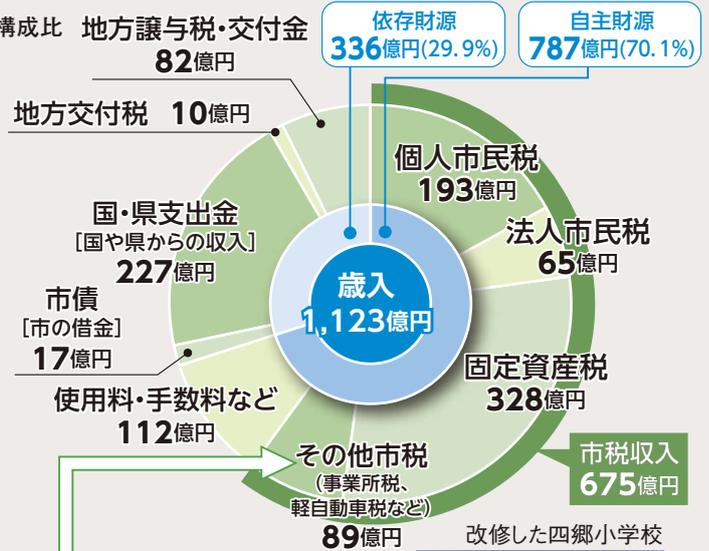
歳入(入ったお金)

□内は前年度比 ()内は構成比 地方譲与税・交付金

前年度比 +21億円 +1.9%

主な増減

- 市税収入 +36億円 +5.6%
固定資産税や個人市民税の増など
- 市債 -20億円 -53.5%
市債発行(借金)を抑制したことによる減など
- 国・県支出金 +12億円 +5.7%
国体関連施設の整備に伴う
国からの交付金の増など



事業所税

人口30万人以上の都市で、一定規模以上の事業所に課税する目的税(決算額33億円)

事業所税の主な充当先

- 産業・生活道路などの整備に 20億円
- 小・中学校の改修工事などに 9億円



特別会計等

特定の事業を行うために、一般会計と区別して運営する会計

平成29年度は全ての会計で黒字となりました

※数値は四捨五入のため、合計が合わない場合があります

項目	歳入(A)	歳出(B)	実質収支(A-B)
競輪事業	196億6,914万円	184億4,960万円	12億1,954万円
国民健康保険	346億2,391万円	326億4,068万円	19億8,323万円
食肉センター食肉市場	6億4,292万円	6億3,719万円	573万円
土地区画整理事業	2億4,967万円	2億4,958万円	9万円
住宅新築資金等貸付事業	4,093万円	886万円	3,207万円
農業集落排水事業	3億6,330万円	3億3,700万円	2,630万円
介護保険	233億2,905万円	221億522万円	12億2,383万円
後期高齢者医療	60億9,868万円	59億6,838万円	1億3,030万円
三泗鈴亀農業共済事務組合清算	4億6,041万円	4億6,041万円	0円
桜財産区	4,398万円	229万円	4,169万円
合計	855億2,199万円	808億5,921万円	46億6,278万円

一般会計 市民1人あたりに換算した収入と支出は次のとおりです

収入	
項目	決算額
市税	216,602円
使用料・手数料などの収入	35,774円
借金(市債)	5,577円
国や県からの収入(国・県支出金) ※使い道の指定あり	72,776円
国からの収入 (地方交付税・地方譲与税・交付金) ※使い道の指定なし	29,453円
合計	360,182円

支出	
項目	決算額
福祉サービスの提供など	129,918円
道路・河川・公園の整備、交通など	53,072円
教育の充実	39,342円
防災対策、文化振興など	38,945円
保健・医療や環境対策など	30,679円
借金(市債)の返済	28,093円
その他 (消防、地域経済の振興など)	31,158円
合計	351,207円

※一般会計の決算額を、市の人口(平成30年4月1日現在 311,763人)で割って計算

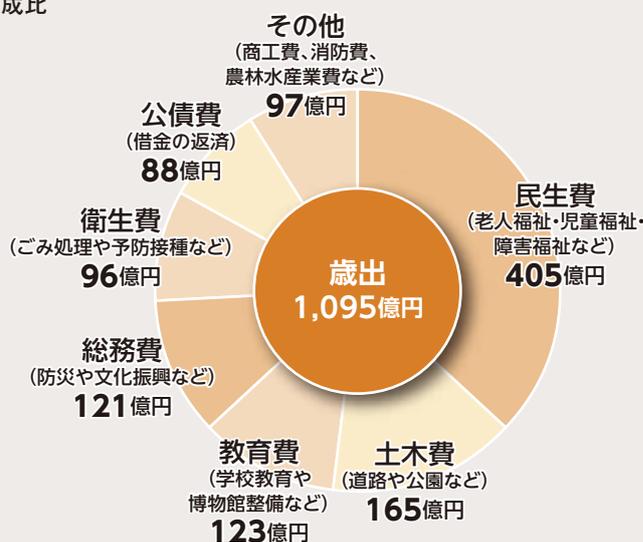
歳出(使ったお金)

□内は前年度比 ()内は構成比

前年度比 +19億円 +1.7%

主な増減

- 民生費 +5億円 +1.2%
民間保育所・地域型保育事業所の新設や改修に対する補助金の増など
- 土木費 +5億円 +3.4%
道路や河川の維持補修費の増など
- 教育費 +22億円 +20.8%
国体関連施設の整備に伴う増など
- 総務費 -14億円 -10.2%
都市基盤・公共施設等整備基金積立金の減など



■性質別内訳 ()内は構成比

義務的経費 506億円 (46.2%)			物件費 156億円 (14.2%)	補助費等 153億円 (14.0%)	投資的経費 139億円 (12.7%)	その他 141億円 (12.9%)
扶助費 250億円 (22.9%)	人件費 168億円 (15.3%)	公債費 88億円 (8.0%)				

公営企業会計

住民の福祉の増進を目的として、主に料金収入によって経営される会計



市立四日市病院事業

年間約16万人の入院患者と約41万人の外来患者を受け入れました。人工透析室の移転拡充工事を完了するとともに、多目的デジタルX線テレビ装置などの整備を行いました。

収益	213億円	5億円 の黒字
費用	208億円	



水道事業

給水戸数は前年度と比べて1,663戸増加し、全体で14万9,757戸になりました。高度浄水処理施設整備や取水井(井戸)の更新のほか、基幹施設の耐震化、経年施設の更新などを行いました。

収益	76億円	15億円 の黒字
費用	61億円	



下水道事業

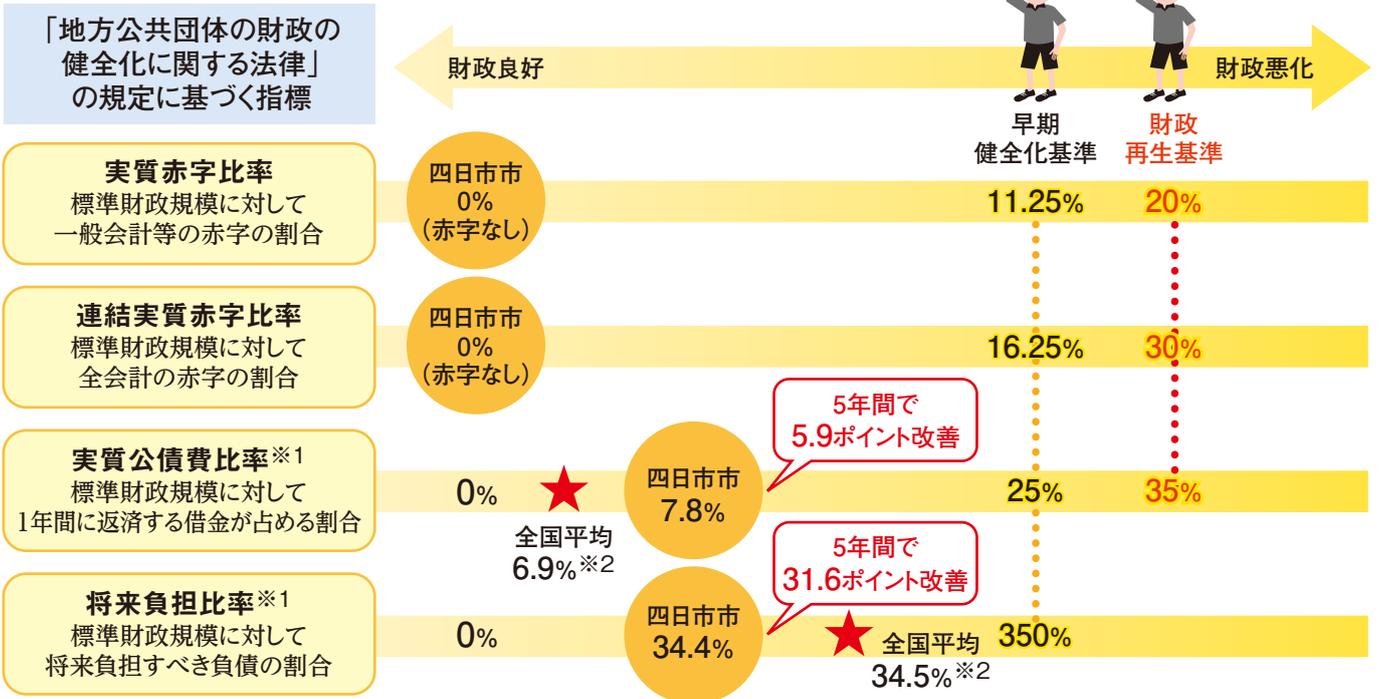
処理区域内戸数は前年度に比べて3,099戸増加し、全体で10万8,088戸になりました。汚水管の延伸工事や、日永浄化センターの設備更新、ポンプ場の建築工事などを行いました。

収益	149億円	18億円 の黒字
費用	131億円	

財政状況は健全です

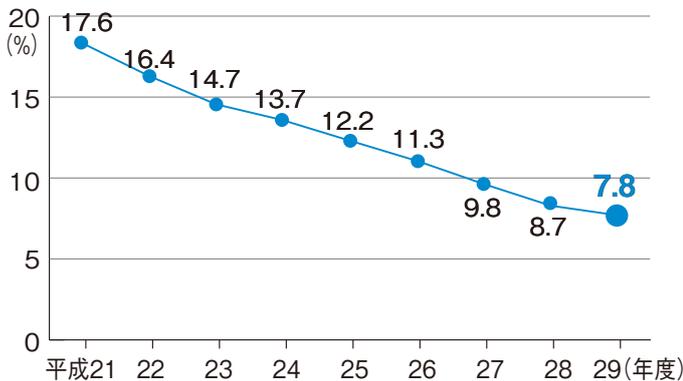
財政状況を判断する基準の一つとして、地方自治体の財政破たんを未然に防ぐために国が定めた「健全化判断比率」という四つの指標があります。

平成29年度決算を基に本市の健全化判断比率を算出すると、いずれの指標も昨年度の数値から改善しており、早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回っています。



※1 一般会計、特別会計、公営企業会計の他、一部事務組合等を含めた会計での比率
※2 平成28年度決算における平均値

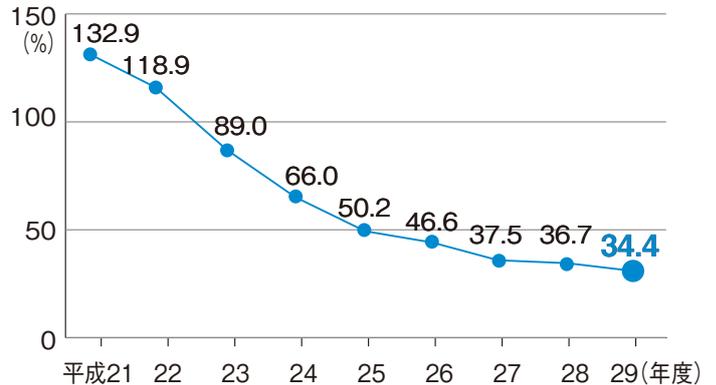
実質公債費比率の推移



この比率が高いほど、1年間の収入に対する借入金の返済額の割合が大きく、財政の弾力性が乏しい(社会経済や行政需要の変化に適切に対応していくゆとりがない)ということになります。

本市は、新たな市債発行(借金)の抑制に努めた結果、毎年比率が改善しています。しかし、平成28年度の全国平均6.9%と比較すると未だに高い数値であるため、今後も引き続き改善に取り組みます。

将来負担比率の推移



この比率が高いほど、財政規模に比べて将来負担すべき支出が大きくなり、今後、財政を圧迫する可能性が高くなります。

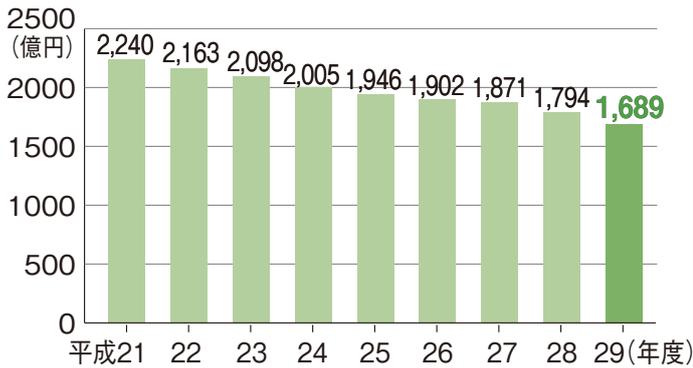
本市の比率は34.4%と、平成28年度の全国平均34.5%を下回っており、健全な数値となっています。今後も引き続き、市債残高の削減に努めていきます。

借金・貯金の推移は次のとおりです

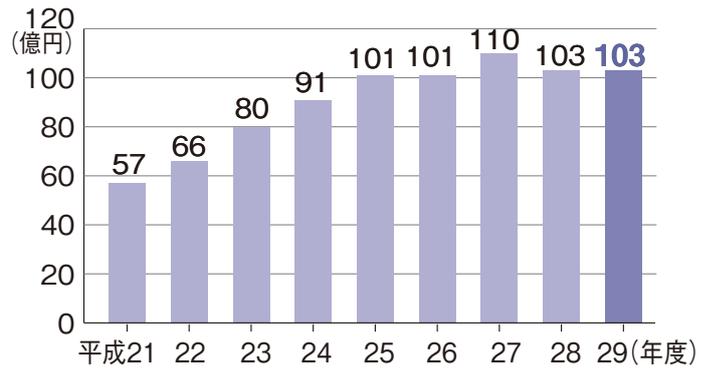
市債発行の抑制に努めた結果、借金(全会計の市債残高の合計)は1,689億円となり、前年度と比べて105億円減少しました。

また、災害などの不測の事態や景気変動による減収に備えるため、貯金(財政調整基金)の確保に努めています。平成29年度においては、年度末残高で103億円確保できました。

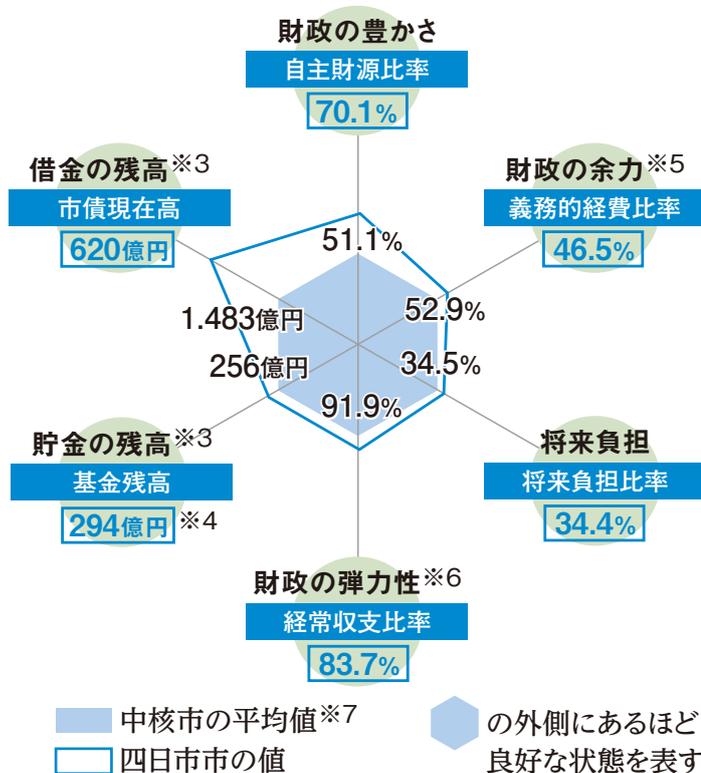
市の借金(全会計市債残高)の推移



市の貯金(財政調整基金)の推移



財政指標は他のまちと比べて良好な水準です



歳入に関しては、市税などの自主財源比率が他団体と比べて高い水準にあり、国・県からの補助金や市債などの依存財源に頼らない、自主性の高い構造となっています。

歳出に関しては、他団体と比べて財政の弾力性が高く、将来負担比率も低い、健全な状態と言えます。また、貯金の残高(基金現在高)や借金の残高(市債現残高)も他団体と比較して良好な数字となっています。

- ※3 普通会計の額で比較
- ※4 財政調整基金や特定目的基金などの合計
- ※5 歳出のうち、その支出が義務付けられ節減が難しい費用(人件費、扶助費、公債費)が歳出全体に占める割合。数値が低いほど財政に余力がある
- ※6 人件費など毎年経常的に支出する経費に、一般財源がどの程度費やされているかを求めたもの。数値が低いほど弾力性がある
- ※7 将来負担比率は全国市町村の平均値

この他にも、民間企業の手法を用いた財務諸表など、さまざまな角度から財政状況を分析しています。詳しくは、ホームページ([HP ID 1001000003457](http://www.yokkaichi-city.jp/HP_ID/1001000003457))をご覧ください。



中央緑地フットボール場
(国体競技施設整備事業)



増設したプラント設備
(企業立地奨励金交付事業)



近鉄川原町駅前広場
(拠点駅周辺整備事業【連続立体交差事業】)

平成29年度の **主 な 事 業**

本市は、今後10年間のまちづくりの方向性を定める「四日市市総合計画(平成23~32年度)」に基づき、「安心、元気・魅力、絆のあるまち」を目指して、さまざまな取り組みを進めています。そして、総合計画に定める五つの基本目標に応じて、3カ年の実施計画「推進計画」(第3次推進計画は平成29~32年度)を策定し、重点的に財源を配分することで、効果的に事業を推進しています。

ここでは、平成29年度に実施した推進計画事業のうち、決算額の大きい上位5事業を紹介します。

基本目標

1

「都市と環境が調和するまち」を目指して

決算額 **50億円**

事業
ピックアップ

公共下水道事業(汚水)
.....25億4,903万円



下水管の延伸工事

日永浄化センターの設備更新や下水管の延伸、下水管や施設の更新・耐震化を進めました。

平成29年度決算額(額が大きい順)

1	公共下水道事業(汚水)	25億4,903万円
2	水道整備事業	18億36万円
3	拠点駅周辺整備事業【連続立体交差事業】(近鉄川原町駅)	1億3,275万円
4	市営住宅外壁改修等長寿命化事業	1億160万円
5	合併浄化槽整備促進事業	6,363万円

基本目標

2

「いきいきと働ける集いと交流のあるまち」を目指して

決算額 **7億円**

事業
ピックアップ

茶業振興拠点整備事業
.....2億1,712万円



茶業振興センター

新名神高速道路の整備に伴い、茶業振興センターを移転しました。平成30年4月から運用を開始しています。

平成29年度決算額(額が大きい順)

1	企業立地奨励金交付事業	3億7,437万円
2	茶業振興拠点整備事業	2億1,712万円
3	観光・シティプロモーション事業	2,613万円
4	東海道魅力アップ事業	2,564万円
5	中小企業新規産業創出事業	1,389万円

基本目標

3

「誰もが自由に移動しやすい安全に暮らせるまち」を目指して

決算額 **44**億円

事業
ピックアップ

新消防分署整備事業
.....6億109万円



中村町に北消防署北部分署を整備しました。平成30年4月から運用を開始しています。

北消防署北部分署

平成29年度決算額(額が大きい順)

1	総合治水対策推進事業 【公共下水道事業(雨水)】	9億4,038万円
2	公共施設アセットマネジメント事業	8億4,111万円
3	道路橋梁整備事業 【主要道路リフレッシュ等】	7億7,104万円
4	新消防分署整備事業	6億109万円
5	消防力・救急体制強化事業	2億7,295万円

基本目標

4

「市民が支えあい健康で自分らしく暮らせるまち」を目指して

決算額 **34**億円

事業
ピックアップ

民間保育所等整備事業
.....5億476万円



内部ハートピア保育園・たいよう保育園の新設、陽光台保育園の改修に要する経費の一部を補助しました。

たいよう保育園

平成29年度決算額(額が大きい順)

1	子ども医療費助成事業	9億6,024万円
2	民間保育所等整備事業	5億476万円
3	地域型保育事業	4億6,078万円
4	学童保育推進事業	4億5,283万円
5	在宅介護支援センター運営事業	2億5,525万円

基本目標

5

「心豊かな“よっかいち人”を育むまち」を目指して

決算額 **45**億円

事業
ピックアップ

国体競技施設整備事業
.....34億7,871万円



2021年度に開催される「三重とこわか国体」を見据え、霞ヶ浦テニスコートなどの新たなスポーツ施設を整備しました。

霞ヶ浦テニスコート

平成29年度決算額(額が大きい順)

1	国体競技施設整備事業	34億7,871万円
2	少人数学級拡充事業	2億1,161万円
3	途切れのない指導・支援事業	1億9,825万円
4	文化会館大規模改修事業	1億3,658万円
5	学校英語教育充実事業	8,473万円

今回の特集では、市の財政状況が健全であることと、平成29年度にどのようなことにお金が使われたのかをお伝えしました。今後も、市民の皆さんに納めていただいた税金を大切に使用していきます。

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

財政課 ☎354-8130 FAX 359-0275
広報マーケティング課 ☎354-8244 FAX 354-8315